

平成27年4月7日開催の部長会議の報告をします。

部長会議報告書

平成27年4月7日(火)

3階第2会議室9:15～

1. 市長訓示

・今回の人事異動によって、新たに6名が部長級に昇格した。それぞれ、気持ちを新たに全力で職務に取り組んでいただきたい。また、4月の人事異動では、女性の管理職を新たに9名登用するほか、意欲ある若手職員を積極的に管理職や係長職に登用した。大胆な人事異動により組織を活性化させ、職場全体が活力あふれるものにしていきたい。

・ここにいる部長会議メンバーは、部局という大きな組織を取りまとめていくリーダーであり、マネージャーである。幹部職員としての自覚を十分にもって、自分自身が部下の規範となり、部下からの信頼を勝ち取れるよう努めていただきたい。その信頼関係があつてこそ部下への指導環境が整うのだと思う。職員の積極的なチャレンジを受け止めることができる職場であるよう、部長以下の管理職員が率先して見本を見せてもらいたい。

・今年度は、新しい総合計画と行政改革大綱がスタートする年である。基本理念である「本物力こそ、桑名力。」のもと、オール桑名での取り組みを進めていくために、二つの視点である「まちづくり市民力の発揮」と「次世代への責任」の感覚をもつことが重要である。

・新しい総合計画は、行財政改革とあわせて取り組む計画である。年頭の記者会見でも申し上げたが、今年度は積極的に行財政改革に取り組む年にしていきたい。特に、「PPP元年」との位置づけで、行政と民間が役割分担をしながら協力し、民間のノウハウやアイデアを積極的に取り入れていく姿勢を出していきたい。多度の健康増進施設整備のための事業者公募も間もなく開始するが、この他、「提案型公共サービス公民連携制度」を導入するなど、市民や企業から事業の提案を募集するといった、これまでとは違う行財政運営のあり方を考えていく。

・さらに、ファシリティーマネジメント推進のため、新たに「公共施設マネジメント課」を設置した。各部長の皆さんはこの意義をしっかりととらえ、市全体で公共施設やインフラのマネジメントに取り組んでいくことを強く意識していただきたい。

・また、平成27年度の当初予算は、「“本物力” 実行予算」として、新総合計画と行革大綱のスタートとともに財政健全化への取り組みを進めるものである。高い経常収支比率の改善のために、一般財源総額に上限を設定した予算編成や賃借不動産の見直しといった経常経費の見直しを行ったほか、財政調整基金からの繰り入れを10億円としたところである。

・そんな中、一般会計当初予算は前年度比5.5%増の502.6億円と過去最大規模となった。これは、桑名市土地開発公社解散のための保有土地の買戻しや事業化を行うことが主な増加要因である。公社解散のための予算増は翌平成28年度も続くこととなるが、次世代への責任のための決断であり、計画どおりに進めていきたい。

・このため、市債残高が増加し、短期的な視点で見ると財政状況が悪化しているようにとらわれがちであるが、将来的に持続可能な行財政経営を行っていくためのステップを踏んでいるところである。抜本的な経営の体質改善を図り、スリムで筋肉質なものにしていきたい。

・皆さんには、厳しい財政状況の中で真に必要な事業をより効果的に行っていけるように、現在の事業の思い切った廃止を念頭に置いた見直しはもとより、「ふるさと納税」「ネーミングライツ」に代表される、歳入確保への創意工夫も加えていただきたい。

・さまざまな課題はあるが、市民の皆様が持つ「まちづくり市民力」との連携により、行政が市民の皆様と情報を共有し、信頼関係を築きながら「次世代への責任」を持って全員でまちづくりを進め、「全員参加型市政」が実現できるよう、職員のリーダーとして皆さんが部局を引っ張っていただきたい。

・そのため、職場内でのコミュニケーションづくりには今まで以上に気を配ってほしい。毎年朝の朝礼を巡回して感じることは、コミュニケーションが良好な良い職場の雰囲気は外から見てもすぐに伝わるということである。コミュニケーション力の向上がチーム力の向上につながる。職員の仕事に対する熱く前向きな「マインド」が高まるようサポートしてほしい。

・最後になるが、良い職場で良い仕事を行うためには、心と身体の健康がまず大切となる。自身はもとより部下の健康管理にも目を配り、幹部職員としての職務を全うしてもらいたい。また、日頃からストレスを貯めないよう常にリフレッシュすることも忘れずに。

2. 自己紹介・新年度の抱負について（全部長）

（任命、異動、昇格等）

教育長、市長公室長、教育部長、議会事務局長、長島町総合支所長、
桑名・員弁広域連合事務局長、保健福祉部理事、都市整備部理事

副市長

本市の財政状況は、非常に厳しい状況であるが、財政調整基金の取崩額が昨年度よりも減り、少し改善した。しかし、歳入に見合った歳出予算は組まれていない。経常ベースで財政調整基金を取り崩すのは非常に危険な状態である。まだまだ皆さんの努力をお願いしたい。

また、本市は、公共施設を必要以上に持ちすぎていることは明白である。指定管理者制度で管理をしている施設が多くあるが、指定管理者制度を施設に導入したことで満足し、指定管理

者の更新時期になると更新業務に躍起になり、その施設が本当に必要なのかどうかを考えていない。指定管理者制度をやめて、直営にして施設の必要性を考えるようにしてもらいたい。FMの前提と捉えて公共施設の見直しをしてもらいたい。今年はそのようなことを踏まえて厳しいお願いさせていただくことになる。

さらに、部局の縦割りが不経済を招くことになる。土地開発公社の解散では多くの部局に大変ご協力をいただいたが、部局の縦割りで一つの部局だけで施設を建設しようとするのであれば、私は断固反対する。自分の領域だけを守ることをないように横の連携を強化して進めていただきたい。

(以下、全ての出席者から自己紹介)

3. その他

(1) 総務部

①平成27年度予算の執行について

例年、年度当初に、予算執行に関して留意いただきたい点をお知らせしており、本年度は、「執行残額の使い切りを厳に慎むこと」や「流用はあくまで例外的な措置であること」など、基本的ですが大切な点について、あえて強調している。

また、流用に際して理由書の提出をお願いするので、様式を近く通知する予定である。

団体への補助金について、改めて、運営費補助から事業費補助への切り替えを進めていただきたい。

これらに留意のうえ、平成28年度予算編成も見据えながら、適正な予算執行に努めていただきたい。

②平成27年度監査日程について

各所属宛てに、メールでお知らせをするが、監査委員事務局から示された監査実施計画により、定期監査をはじめ、審査、検査が実施されるので、各部局においてはそれぞれ対応をお願いしたい。

定期監査は、例年のように部単位で実施され、実施対象となる部署には2カ月前に通知をする予定である。

③桑名市の面積の変更について

市の面積について、国土地理院が毎年公表している都道府県、市区町村別の面積調べにおいて、平成26年の調べから計測方法が変更されたことに伴い、桑名市の面積も、これまでの136.61平方キロメートルから、136.68平方キロメートルに変わり、これが先月公表された。ホームページやパンフレットなど、面積を掲載しているものがあつたら、変更をお願いしたい。こちらも各所属へメールでお知らせする。

(2) 市長公室

①新桑名市総合計画書について

新しい総合計画がスタートしました。各部局には、策定にあたりご協力をいただきありがとうございました。計画書冊子が完成したので本日配布させていただく。

②本庁舎外壁コンクリート版取付補強工事について

工事が実施されているが、執務時間中の工事となるため、騒音・振動等が発生する。平成28年1月まで工期を区切って実施されるので、大変ご迷惑をおかけするがご理解ご協力をよろしくお願いしたい。

③ふるさと自慢うた自慢公開録音の応援について

市制10周年記念、NHK津放送局開局75周年記念で5月15日(金)に桑名市民会館で開催されるので、改めて、ブランド推進課から職員の応援をお願いさせていただく。

④市のブランドキャッチフレーズ「本物力こそ、桑名力。」のロゴマークを使った名刺の活用について

3月中旬から名刺の台紙を配布させていただいている。部長をはじめ多くの職員に積極的に活用していただきたい。ロゴの説明はブランド推進課の公開サーバーに掲載しているので内容をご確認いただきたい。

⑤時事通信社 i-j a m p の登録について

ライセンス数が昨年度よりも減少しており、付与については、全ての所属長には割当てできない。今年度の運用については、追ってメールでお知らせする。

⑥部長会議開催日程について

今回は4月21日(火)で「今年度の部局の目標・方針」の報告となる。様式を別途メールでお送りするので、16日(木)正午までに政策経営課まで提出していただきたい。

(3) 多度町総合支所

多度町総合支所の旧町長室が空いているので、4月末から公益社団法人三重県宅地建物取引業協会桑名支部に有償で貸付をするので、ご承知おきいただきたい。